

# 東部営農経済センターだより 8月号

JA静岡市東部営農経済センター：245-7527・東部購買店直通：245-7555

センター長	茶	苺・水稻・蔬菜	果樹	女性部（しづはた兼任）	購買
酒井	熊ヶ谷	深井・片井	久留	市川	栗田・萩原・後藤・田山・中村

**厳しい残暑 JAのドリンクで乗り切ろう!!**

贈答用にも♪ 配達も承ります

- みかん日和** 30本入 ¥2,570
- JA静岡茶** 24本入 ¥2,592
- ポストニックウォーター** 24本入 ¥1,944
- りんごジュース** 30本入 ¥3,480
- DOUTOR コーヒー 無糖/微糖(ミルク)** 各24本入 ¥2,256

**おすすみ**

## 『家の光』『地上』『ちゃぐりん』年間購読受付中!

(年間購読 12月号～翌年11月号)

**家の光**…防災の事やハンドメイド、旬のレシピなどなど、暮らしに役立つ情報が満載です。

**ちゃぐりん**…「食と農の学習」に役立つ企画がたくさん！勉強と遊びを両立した子供向け雑誌です。

**地上**…農協運動に参加・参画する仲間づくり、豊かな地域づくりに役立つ記事を提供しています。

詳しくは最寄のJAへ!



今がお得!  
9月末まで!!

## 除草剤キャンペーン

オオアレチノギク、スギナに!



背抜き手袋  
プレゼント付



500ml 1本  
プレゼント付



6L ¥12,980 ⇒ ¥11,800

☆150～200倍で草全体にかかるように散布  
☆根まで枯らす効果はないが、抑草効果が長い  
☆散布後、1時間の降雨でも効果を発揮!

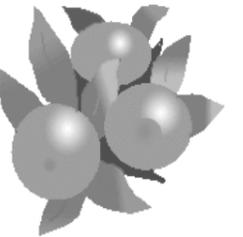
## 柑橘

【状況】

8月のスルガエレガント生育調査では、収穫推定階級でL中心となっています。しかし、昨年度に比べ推定小玉果率が高くなっていますので、摘果が完了していない園地においては速やかに摘果を完了させてください。今後の管理が収穫期に大きく影響してきますので管理の徹底をお願い致します。暑い日がまだ続きますので熱中症などに十分気を付けて作業に当たってください。

### スルガエレガント生育調査結果 (収穫推定階級分布)

	3L	2L	L	M	S
R4	0.3%	13.1%	42.4%	33.1%	11.1%
R3	1.3%	15.9%	47.7%	29.1%	6.0%



### ・摘果作業

中晩柑で仕上げ摘果が完了していない園地においては速やかに仕上げ摘果を完了させてください。また、早生温州は9月上旬、青島温州は9月中旬までに仕上げ摘果を実施してください。この時期の摘果は糖度上昇効果が期待できます。

### 【防除】

品 種	時 期	対 象 病 害 虫	農 薬 名	希 釈 倍 率	使 用 基 準
温州みかん 中晩柑	9月中旬	チャノキイロアザミウマ	アグリメック(劇)	2,000倍	7日-3回
		ミカンハダニ	ダニコングフロアブル	3,000倍	前日-1回
		黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	温州 30日-4回 中晩柑 90日-4回

※9月以降のダニは着色に影響を及ぼすため丁寧な薬剤散布を心掛けてください。

### ・青島温州の浮皮軽減対策

ジベレリン(1~5ppm) + ジヤスモメート液剤(1000~2000倍)の散布(取り寄せ注文)  
散布時期: 満開130日後(青島温州で9月上中旬頃) 農薬と混用は避けてください。

※ポンカン等年内に収穫を実施する中晩柑はペンコゼブ水和剤に代わってオキシンドー水和剤801,000倍(30日-3回)を散布してください。

※台風等の影響によりカイヨウ病の発生が懸念される褐色腐敗病の発生が懸念される場合は、ランマンFL2,000倍(前日-3回)を樹の下半分に散布する。

## 落葉果樹

作物名	時 期	病 害 虫 名	農 薬 名	希 釈 倍 率	使 用 基 準
梨	9月中旬	黒星病	キノンドーフロアブル	1,000倍	3日-9回
柿	9月上旬	うどんこ病・炭そ病	ストロビートライフロアブル	3,000倍	14日-3回
	9月中旬	カメムシ類	テルスター水和剤	1,000倍	14日-2回
キウイ	9月上旬	果実軟腐病	ベルコート水和剤	1,000倍	前日-5回
	9月下旬	クワシロカイガラムシ	アプロード水和剤	1,000倍	前日-2回

## 茶

秋芽開葉期	炭疽病、もち病、網もち病 ウンカ、スリップス	ドイツポルドーA スタークル顆粒水溶剤	500倍 2,000倍	14日	混
※ ホコリダニ・サビダニの発生が懸念される場合は、スタークル顆粒水溶剤に代えて、 ハチハチ乳剤 1,000倍(14日) ㉑ またはガンバ水和剤 1,500倍(14日) ㉒を散布する。					
9月中下旬	クワシロカイガラムシ	コルト顆粒水和剤	2,000倍	7日	単
		アプロードエース7077アル	1,000倍	14日	単

秋肥：秋肥は充実した樹体や根を作るのに重要で、来年の一番茶の品質、収量に影響します。

第1回目：8月下旬 ・ 第2回目：9月中旬 **各時期：茶配合4袋/10a当り**

※ 肥効を高める為に土壌に水分がある時の施肥、施肥後は出来るだけ土と混ぜて下さい。

※ 施肥効果を上げるため、1回目と2回目を14日程度あけて下さい。

## 水稻

### 1、水管理

- ① 出穂後は間断灌水とする。(3日間を目安に落水とたん水を繰り返す)
- ② 落水は出穂後30日ごろとする。**気温が高い年に早期落水すると乳白粒等の高温障害が多発する要因になる**ので注意する

### 2、収穫時期

- ① 1穂中90%の籾が黄金色になったころが目安。
- ② 気温が高い日が続くと収穫時期が早まるので、刈遅れに注意する。



## 病虫害防除

### ① いもち病

今年はいもち病の発生が見られますので、しっかり防除してください。

☞ 防除薬剤：ブラシン(フ) 1,000倍 7日前まで 2回以内

### ② ウンカ

管内の圃場では発生は見えていませんが、飛来は多いとの情報が有ります。箱粒剤を施用していない圃場では特に注意してください。

☞ 発生が多い場合：エミリア(フ) 1,000倍 7日前まで 2回以内

### ③ 斑点カメムシ

近年発生が多いので、注意してください。カメムシ類の防除適期は出穂(穂が5割出たころ)後5日~7日後です。

☞ 発生が多い場合：スタークル(顆水) 2,000倍 7日前 3回以内

ブラシンは  
・ごま葉枯病  
・穂枯れ病  
・稲こうじ病  
など、幅広い病気に適用しています

## いちご

育苗ラストサポートです。病虫害防除や温度管理に気を付けて良質苗の定植が出来るようにしましょう。向こう3か月予報(8月~10月)では平年に比べ気温が高くなる予報です。定植時に地温が高くなりすぎない様に寒冷紗の利用など地温を適温(18~23℃)に近づけ、活着を促しましょう。

### 1、切り離しからの管理

- ① 育苗中の**肥切れ**は芯止まりにつながります。試験紙を用いて、こまめに確認しましょう。  
→暑い日が続くと地温が高まると、肥料が吸いにくくなり、肥切れになる恐れがあります。  
地温を下げる工夫が必要です。寒冷紗などを用いて暑さ対策を!!
- ② 切り離し時にI B化成S1号を子苗ポットへ1粒施用。(肥効は10日~14日程度)  
※9月上旬からは低めの管理を心掛けましょう。(硝酸イオン濃度50ppm~100ppm)  
→葉面散布の場合は3日~5日間隔で散布。(EC0.5程度)
- ③ 朝夕にしっかりと灌水を行い、培地の温度を下げる。(紙ポットは表面が濡れるように)
- ④ 切り離し時に2~2.5枚。2週間間隔で葉かきを行い、2~2.5枚になる様に整理をする。  
・・・定植1週間前に最終葉かきを行い、**定植時は4~5枚にする。**

### 2、炭そ病防除ローテーション(先月号の続き)

収穫前日数や天敵及び蜜蜂への影響日数には十分注意して農薬を選択してください!! **注意**

「本圃への病虫害の持ち込みがないように定植前はとくに入念な防除を行いましょ。」

時期	薬剤	RAC	倍率	主な対象病虫害	
9月	第2週 (4日~10日)	アントラコール(水)	M3	500倍	炭疽
		コロマイト(水)	6	2,000倍	ハダニ
	第3週 (11日~17日)	サンリット(水)	3	2,000~4,000倍	炭疽、うどんこ
		ブレオ(フ)	UN	1,000倍	ヨトウ
	第4週 (18日~24日)	ベルコート(水)	M7	1,000倍	炭疽・うどんこ
	ニッソラン(水)	10A	2,000~3,000倍	ハダニ	
10月	第5週 (25日~1日)	シグナムWDG	7・11	2,000倍	炭疽・うどんこ
		マイトコーネ(フ)	20D	1,000倍	ハダニ
	第1週 (2日~8日)	エコピタ(液)	-	100倍	うどんこ、ハダニ、アブラムシ
	ベネビアOD	28	2,000~4,000倍	ヨトウ・アブラムシ・アザミウマ	

※上記表は9月下旬定植、10月第1週の農薬散布1~2日後に天敵放飼を想定しています。

※定植前に小苗や本圃のコガネムシ防除を行いましょ。(ダイアジノンSLソル)

### 3、定植時の確認事項

- ① 必ず分化を確認してから定植してください。検鏡は随時受付しています。
- ② 定植時は葉4~5枚をお願いします。(定植後2週間は葉かきしないこと)  
※病虫害の発生が酷い場合は適宜除去をお願いします。
- ③ 土耕の場合は、大量の灌水などで除塩を行う。元肥は定植20日前までに施用しておく。
- ④ 高設の場合は、水のかけ流しを行い排水のECを0.3以下まで下げる。  
→定植1週間前からEC0.4程度で給液を開始する。
- ⑤ 定植時の地温はなるべく下げ、根の伸長を促しましょう。(適温は18~23℃)
- ⑥ 定植後1週間は株元に手灌水を行い、新しい根を出させる。(新葉の展開を確認する。)

### 機械トラブルに注意!

定植後に給液異常が起こらないに十分注意しましょう。定植前に一度は実際に稼働させ、給液量や給液EC等が正常かどうかの確認を行いましょ!!

☆チェックポイント☆

□チューブのつまりはないか? □給液量は正常か? □給液ECは設定値どおりか?

## 営農実態調査について

提出期限が8月19日(金)となっております。未提出の方は最寄の支店までご提出ください。